



2023年3月期 第2四半期 補足説明資料

－目次－

1. 会社概要P1-3
2. 決算概要P4
3. 連結損益の状況P5-6
4. 連結貸借対照表の状況P7
5. キャッシュフローの状況P8
6. 2023年3月期の業績予想・配当予想P9

1. 会社概要



社名	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	73億2,497万円
従業員数	2,449名（連結）
<small>※2022年3月31日現在</small>	1,252名（単体）
営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡

**無垢No1
木質総合建材メーカー**



(海外拠点)



■ フィリピン 工場



■ インドネシア 工場



■ ニュージーランド トライボード 工場



■ ニュージーランド ノースランド工場



■ ニュージーランド ギスボン工場

一貫生産体制

原材料の確保

一次加工
二次加工

最終製品
製造

販売

ニュージーランドで約40,000haの森林を経営
(苗木を植えることから)

端材でバイオマス発電も

ニュージーランドの“ウッドワンの森”。

日本から東南へ約9,000km 離れた「ニュージーランド」にウッドワンが大切に育てている広大な森林があります。

その規模は約40,000ha にもおよび、「木のぬくもり」を製品としてご提供しつつ、地球環境を守る経営を行っています。

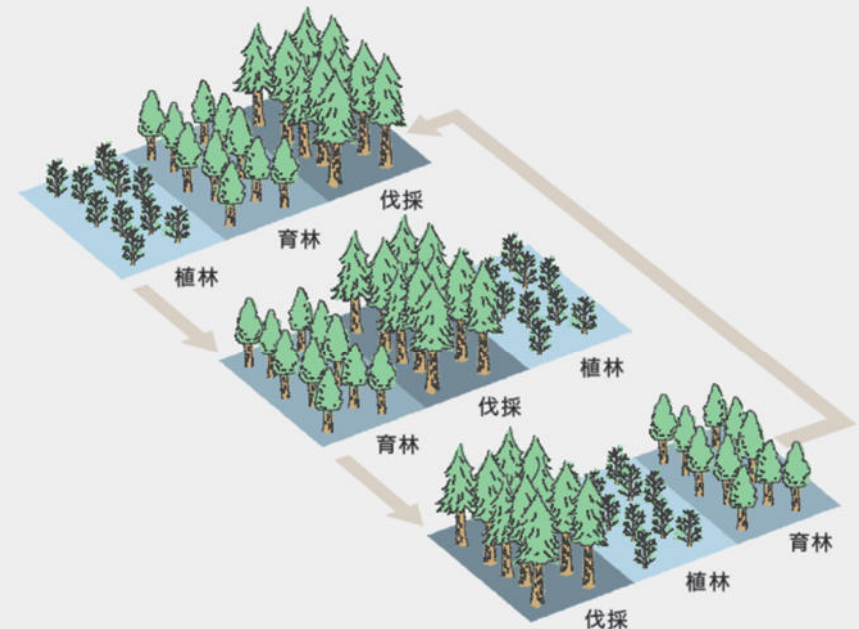


※Juken New Zealand Ltd.(JNL/連結子会社)

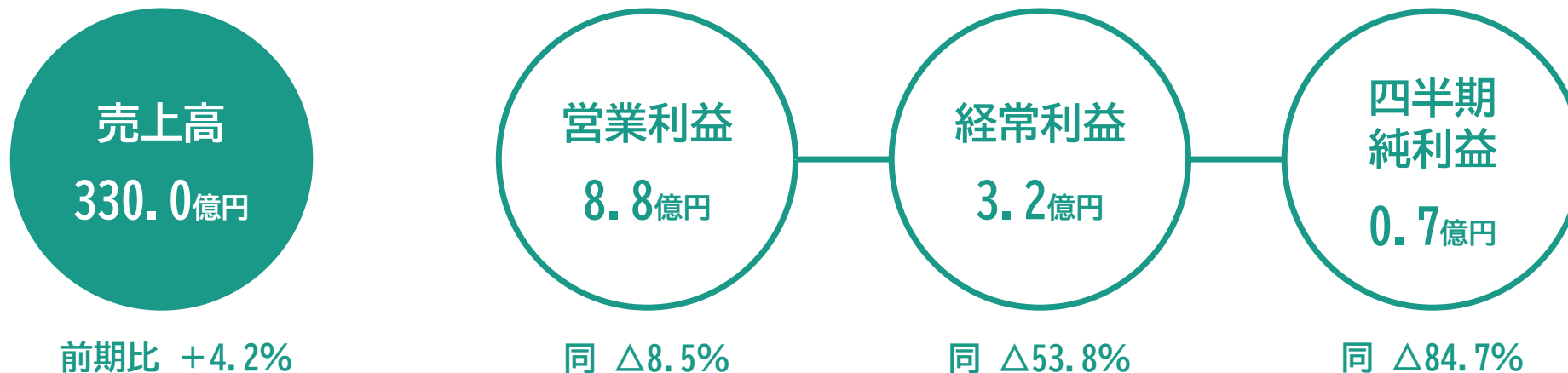
30年で次の世代へ。

ウッドワンで植林しているニュージーパイン®は、約30年で樹高40mほどに成長して伐採適齢期を迎えます。

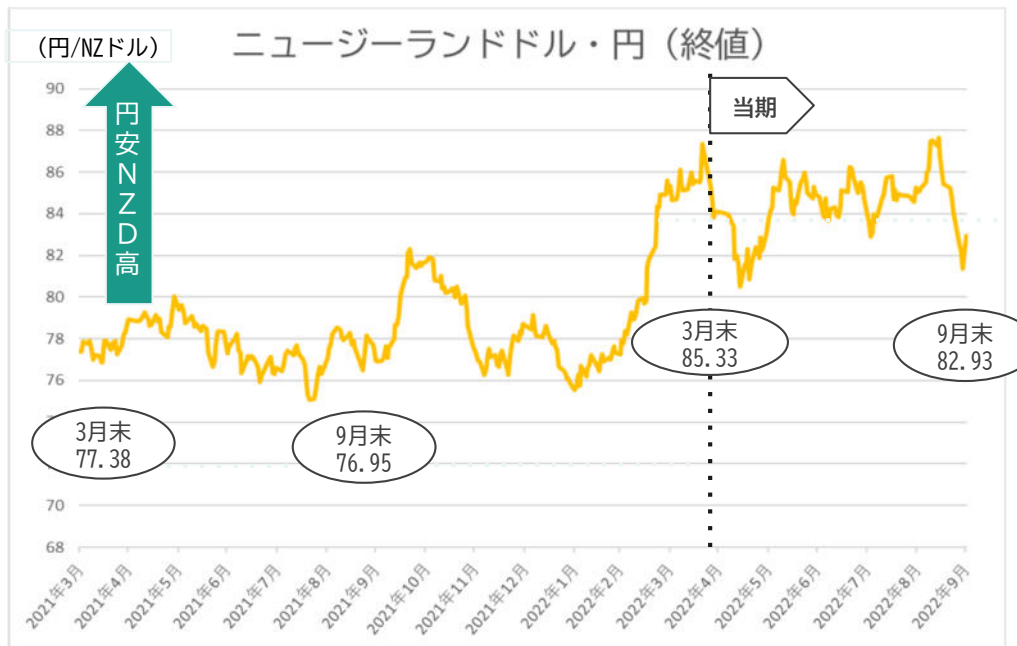
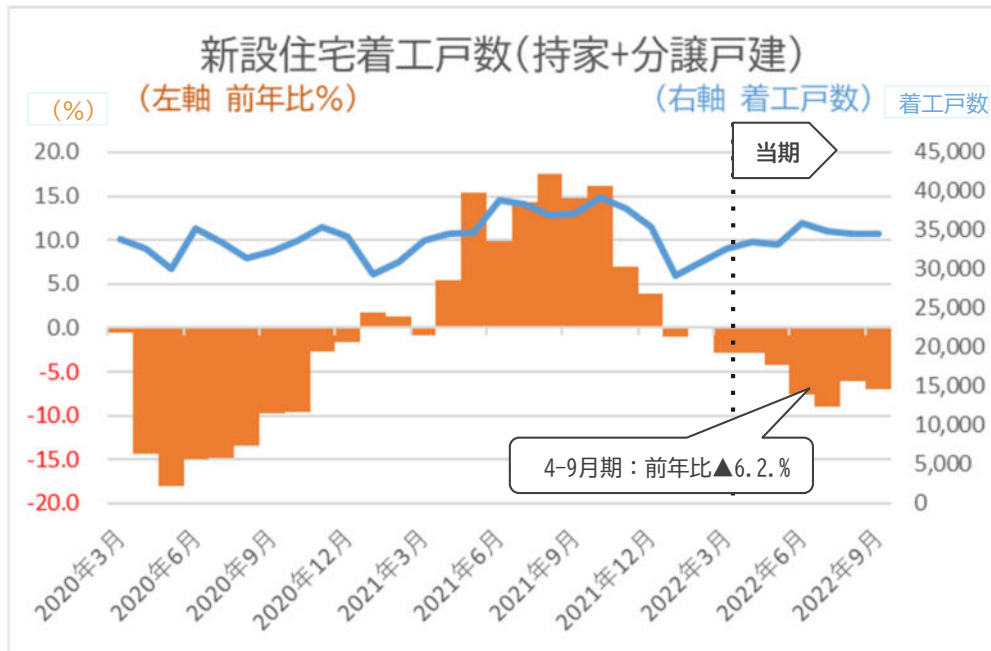
そこでウッドワンでは、1年生から30年生までに分けた区画ごとに育て、毎年一定量の木材が収穫できるように森林を管理・保全しています。



2. 決算概要



(第2四半期の経営環境)

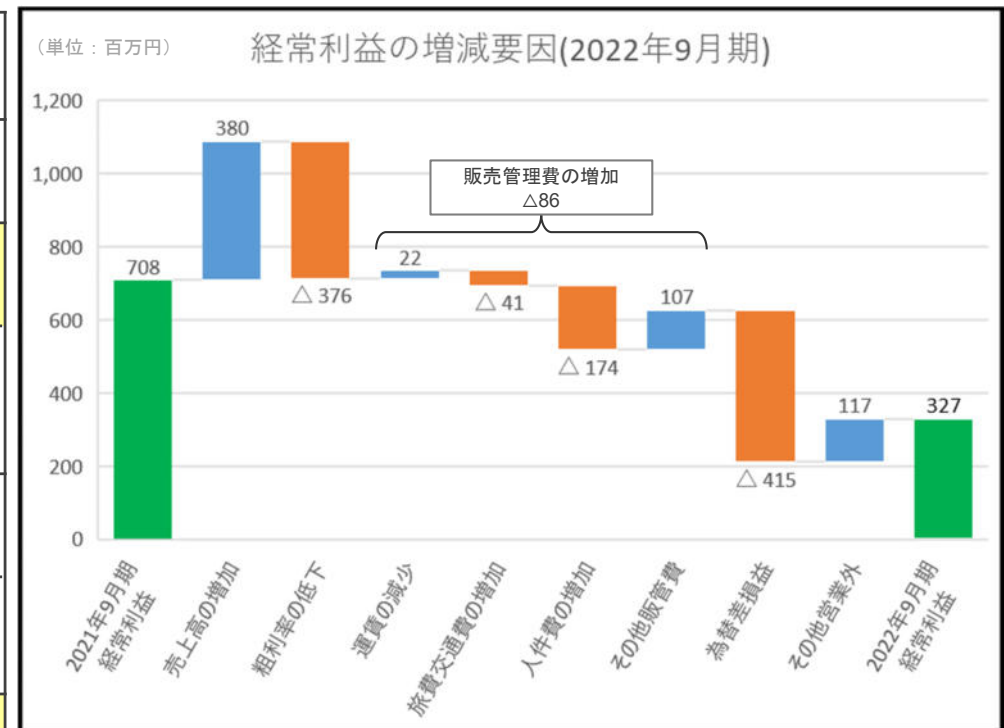


3. 連結損益の状況

- 住宅着工数は減少したが価格改定の効果もあり売上高は増加。原材料費や電気代の高騰・高止まりで粗利率が低下する中、販管費の抑制に努めたものの、営業利益は前期比若干の減少。
- 為替評価損、子会社清算損により経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比減少。

(単位：百万円)

	2021年 9月期	2022年 9月期	前期比 増減
売上高	31,674	33,003	1,328
売上総利益	9,246	9,250	3
売上総利益率 (粗利率)	29.2%	28.0%	△1.2%
販売管理費	8,284	8,370	86
販管費比率	26.2%	25.4%	△0.8%
営業利益	962	880	△82
経常利益	708	327	△380
親会社株主に帰属する四 半期純利益	477	73	△404



← 急激な米ドル高の進行に伴う海外子会社での円建債権の為替評価損

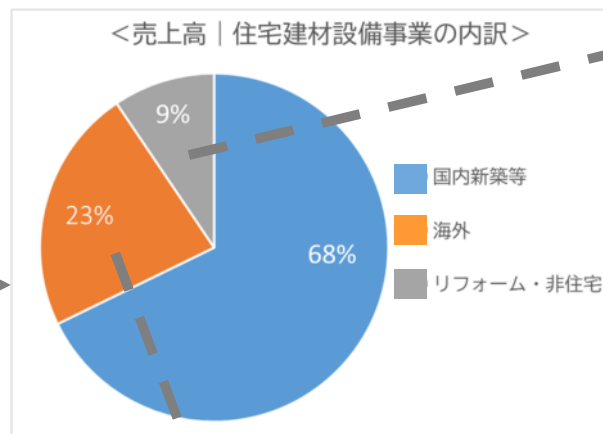
← 中国販売子会社の清算終了に伴う特別損失

(セグメント情報)

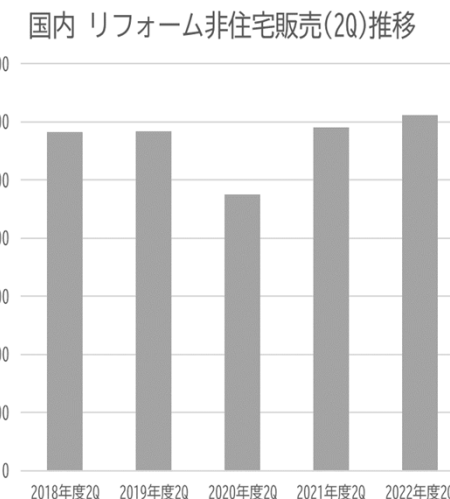
- 住宅建材設備事業における、海外売上（ニュージーランド・インドネシア子会社の外販）は円安の追い風もあり増加。リフォーム・非住宅向けの売上は2年連続で上昇。
- バイオマス発電事業は、電気事業者から「出力制御」が行われたことや、燃料代高騰に加え、間伐材等由来の未利用生材の割合が減少して売電単価が下がったこともあり、売上、営業利益ともに減少。

(単位：百万円)

	2021年 9月期	2022年 9月期	前期比 増減
売上高	31,697	33,021	1,324
住宅建材設備事業	31,105	32,459	1,353
発電事業	591	562	△28
営業利益	962	880	△82
住宅建材設備事業	855	806	△49
発電事業	107	74	△32

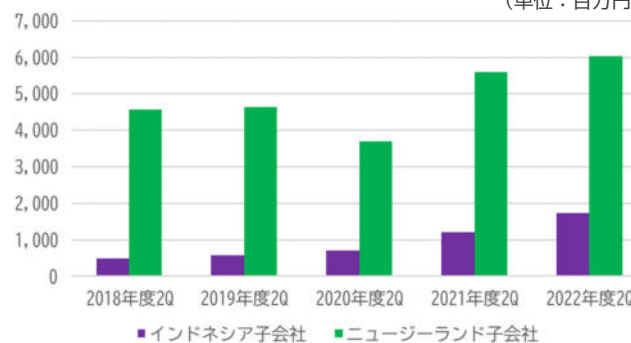


(単位：百万円)



海外販売(2Q)推移

(単位：百万円)



<FIT 買取価格>※

木質チップ種類	単価/1kw
未利用材	32円
一般木材	24円
建築廃材	13円

※規模や調達方法毎に異なる

4. 連結貸借対照表の状況

- 商品の安定供給に向けた原材料の調達や、仕入単価高騰により棚卸資産が増加。
- 増加運転資金の調達により有利子負債が増加。

(単位：百万円)

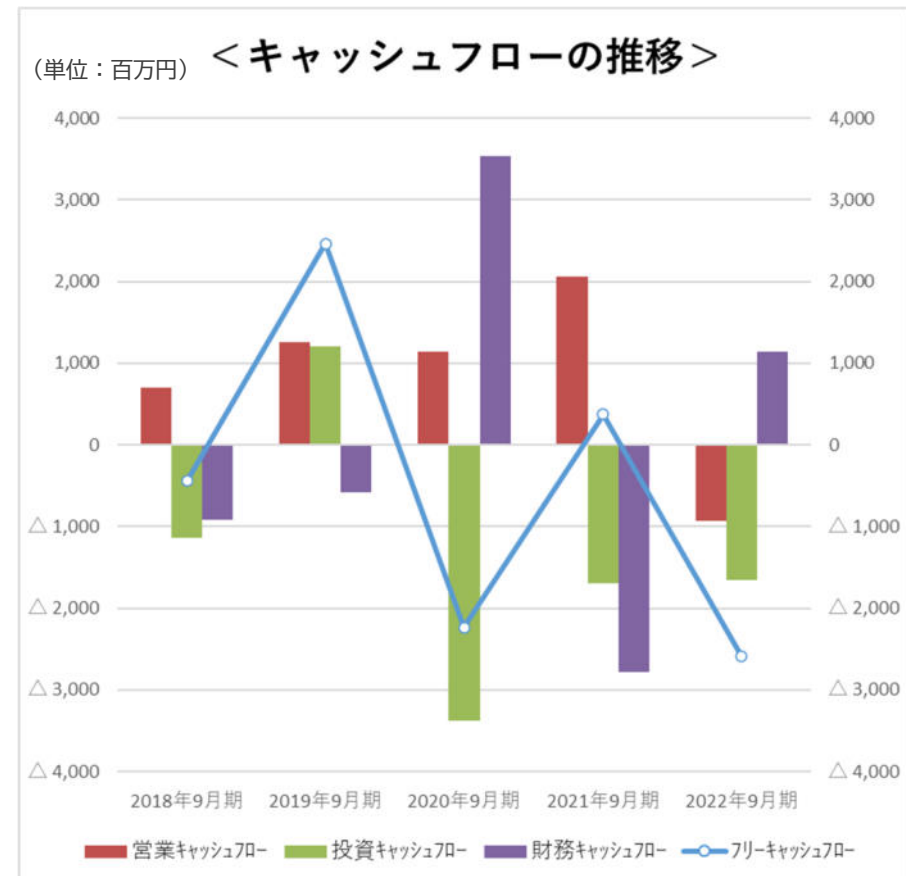
	2022年 3月期	2022年 9月期	増 減	主な増減要因	
				為替影響除き	
流動資産	27,584	29,551	+1,967	+1,259	←商品の安定供給に向けた原材料の調達および仕入単価の高騰
・現預金	5,479	4,032	△1,446	△1,540	
・棚卸資産	12,856	16,162	+3,306	+3,272	
・受取勘定他	9,249	9,356	+107	△471	
固定資産	67,478	67,478	△0	△10	
・有形固定資産（立木除く）	35,674	35,834	+159	△306	
・立木	19,551	19,338	△213	+346	
・無形固定資産	853	851	△1	△0	
・投資その他の資産	11,398	11,453	+55	△50	
資産合計	95,062	97,030	+1,967	+1,249	
流動負債	22,312	23,405	+1,092	+571	←増加運転資金の調達
・有利子負債	10,465	11,231	+766	+551	
・支払勘定他	11,847	12,173	+326	+19	
固定負債	28,560	29,293	+732	+684	←増加運転資金の調達
・有利子負債	23,174	24,265	+1,091	+959	
・その他	5,386	5,027	△358	△275	
(*有利子負債合計)	(33,639)	(35,497)	(+1,857)	(+1,511)	
負債合計	50,873	52,698	+1,824	+1,255	
・株主資本合計	36,281	36,216	△65	+47	
・その他包括利益累計額合計	6,722	6,923	+201	△61	
・新株予約権	144	120	△24	△24	
・非支配株主持分	1,039	1,071	+32	+32	
純資産合計	44,188	44,332	+143	△6	
負債純資産合計	95,062	97,030	+1,967	+1,249	

5. キャッシュフローの状況

- 営業CF：商品の安定供給に向けた原材料調達や仕入単価高騰、税引前四半期純利益の減少などでマイナス。
- 投資CF：ニュージーランド子会社での山林投資などで例年程度のマイナス。
- 財務CF：当社およびニュージーランド子会社における増加運転資金調達。

(単位：百万円)

		2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期
	営業CF	696	1,257	1,137	2,063	△931
	投資CF	△1,138	1,209	△3,374	△1,691	△1,657
フリーCF		△442	2,466	△2,237	372	△2,588
財務CF		△923	△575	3,542	△2,782	1,135



トピックス 2019年9月期：住建（上海）有限公司の持分譲渡
 2020年9月期：インドネシア子会社の新規設備投資
 2021年9月期：新型コロナ対策資金+インドネシア子会社の有利子負債の一部を返済

6. 2023年3月期の業績予想・配当予想

- 業績予想・配当予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想・配当予想から変更してありません。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせします。

(単位：百万円)

(単位：円)

[業績予想:連結]	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想	進捗率	前期比	[配当予想]	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 予想
			2Q/予想				
売上高	66,582	70,000	47%	3,418	中間	12.00	12.00
営業利益	2,351	2,200	40%	△151	期末	12.00	12.00
経常利益	2,147	1,800	18%	△347	年間	24.00	24.00
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,308	1,100	7%	△208	配当性向	17.1%	20.4%

(追加情報) 中華人民共和国の連結子会社清算

- 当社の商品を販売していた連結子会社である沃達王(上海)建材有限公司は、前期より清算手続きを進めておりましたが、清算が終了したため、連結の範囲から除いています。
- 当社の厨房機器部品を製造していた連結子会社である上海倍楽厨業有限公司は2021年12月31日付で操業を停止しておりましたが、2022年9月2日開催の取締役会において、解散および清算に向け、同社が保有する固定資産を譲渡することを決議いたしました。